

追加：赤字

削除：灰色

一般社団法人日本学生卓球連盟 事業実施細則

第4条 全日本学生選抜卓球選手権大会

3. 出場資格

(1) 当該年度全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）シングルスランキング16位まで

(2) 前年度全日本学生選抜卓球選手権大会ベスト8以上

(2) (3) 本連盟内規第3条に定める外国人留学生選手

(3) (4) 主管支部推薦者・男女各4名ずつ

(4) (5) 各支部（主管支部以外）推薦者・男女各2名ずつ

(5) (6) 当該年度日本リーグ・日学連・高体連合同強化事業の成績優秀選手（全体順位の1位から3位）・男女各3名ずつ

(6) (7) 強化委員会推薦者

ただし、全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）でランク入りした日本人選手に関しては、原則として本大会への出場を義務とする。止むを得ない事情がある場合は、その理由を記した欠場届けを本連盟に提出しなければならない。無断で本大会を欠場した場合、およびその理由が正当でないと判断された場合は罰則を課す場合がある。また、強化委員会推薦者は全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）ランカーの欠場の補充とし、両者の合計は16名とする。

(7) (8) 参加申し込みが男女各48名に満たない場合にその不足人数分の主管支部補欠推薦者

4. シード規定

(2) 予選リーグ

①次の優先順位に従い、各ブロックの各段に選手を割り当てる。

段目	優先順位	対象
1	1	当該年度全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）シングルスランキング1～8位の選手
	2	上記に欠場があった場合に同ランキング9位以下の選手
2	3	同ランキング9～16位の内1段目に入らなかった選手
	4	強化委員会推薦者
3	5	合同強化事業の成績優秀選手（最大3名）
	6	前年度全日本学生選抜卓球選手権大会ベスト16以上で上位の選手
	7	外国人留学生選手
	8	主管支部推薦者（最大4名）または主管支部補欠推薦者
4	9	3段目の優先順位の対象の内3段目に入らなかった選手
5・6	10	各支部（主管支部以外）推薦者（16名）

②1段目はランキング1位をAブロックに、2位をBブロックに、3位以下を同様に割り当てる。

③2段目以下は抽選により割り当てる。なお出来るだけ同じ大学の選手が同じブロックにならないよう考慮する。また5・6段目において同じ支部の選手が同じブロックにならないよう考慮する。

①各ブロックの1段目

当該年度全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）シングルのランキング上位選手をAブロックから順に自動的に割り振る。欠場がない場合は、

Aブロック全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）優勝者（ランク1位）

Bブロック全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）準優勝者（ランク2位）

Cブロック全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）ランク3位

：

Hブロック全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）ランク8位

となる。欠場があった場合は、ランク9位以下を繰り上げる。

②各ブロックの2段目

当該年度全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）シングルのランキング9～16位の内、1段目に入らなかった選手、および強化委員会推薦者を抽選で割り当てる。

③各ブロックの3段目

合同強化事業の成績優秀選手、主管支部推薦者1～4名、および外国人留学生選手4名を入れる。合同強化事業の成績優秀選手は必ず3段目に入れなければならない。外国人留学生選手は、前年度の全日本学生選抜卓球選手権大会の結果の上位より充てる。（ベスト4→ベスト8→ベスト16）前年度ベスト16の外国人留学生選手で3段目が満たない場合は、その他の外国人留学生選手の抽選にてこれを補充する。また、前年度の全日本学生選抜卓球選手権大会において、ベスト4に入った外国人留学生選手はE～Hブロックに入れなければならない。

④各ブロックの4段目

各支部（主管支部以外）推薦者各2名ずつの内、各支部からの優先度の高い1名ずつの計8人を抽選にて入れる。

⑤各ブロックの5段目

各支部（主管支部以外）推薦者各2名ずつの内、4段目に入らなかった計8人を抽選にて入れる。なお抽選にあたっては、同一支部同士が4段目と5段目において重複しないようにする。

⑥各ブロックの6段目

3段目に入らなかった主管支部推薦者および外国人留学生選手または主管支部補欠推薦者を無作為抽選にて入れる。

⑦以上の全段の抽選においては、極力、同じ大学の選手を同じブロックに入れない様に考慮する。それ以外は、無作為抽選を原則とし、全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）のベスト8決定戦の対戦者が同じブロックの1段目と2段目に入ることも妨げない。